



新たな東北モデルを構築

「上司に直訴して担当した」という仙台空港コンクリート舗装工事など、駆け出しの頃を過ごした東北への勤務は23年ぶり。「震災復興事業が一段落した後の新たな日本道路東北支店長

細田 武志氏

ほそだ たけし



東北モデルをつくることが使命だ」と口元を引き締める。

中期経営計画に基づき「収益性に重点を置く」と明確なビジョンを打ち出し「営業・工事・製品販売・グループ舗装会社が一致団結して目標に進む」支店運営を目指す。

広大で拠点が多い地域だけに「管理の効率的なアプローチ」を心掛ける。職員には「失敗を恐れず、新しいことにどんどん挑戦しよう」と進取の精神を呼び掛け、共に成長していく構えだ。「二丁目一番地」に掲げる働き方改革は「みんなで知恵を絞る」4週8休に取り組む。さらに「各現場に即して芯を食った安全施策を打ち出

したい」と安全文化醸成にも力を注ぐ。

脱炭素社会に貢献する廃漁網をリサイクルしたアスファルト改質剤の拡販に向けてアクセルを踏む。大谷翔平選手や菊池雄星選手を輩出した花巻東高校野球部グラウンドの人工芝化も完成。技術を通じて「スポーツが盛んな東北の発展」にも貢献していく。

1995年3月北大工学部土木工学科卒後、同4月日本道路に入社。中国支店山口営業所長、同広島営業所長、四国支店長などを経て、23年1月から前職の中部支店工事部長。全国10事業所中8事業所に勤務。単身生活は10年目で「たまに会える家族に料理を振る舞う時の一口目の反応が楽しみ」と笑う。神奈川県出身、52歳。

